



キク編

病害虫注意報 2022年8月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

高温期です！立枯れ症状、ハダニ類にご注意ください！

高温期はアザミウマ類、チョウ目類も同様に多発しやすいため、定期的な薬剤防除を行いましょう。

立枯れ対策には定植前の粒剤、もしくは薬剤の灌注を行いましょう。

※花き類・観葉植物登録

登録内容	薬剤名	希釈倍数・使用量	処理方法
立枯病など	リゾレックス水和剤※	500～1,000倍 3L/m ²	土壌灌注(生育期/5回)
立枯病(リゾ外コア菌)	ユニフォーム粒剤※	18kg/10a	土壌表面散布 (定植時または生育期/3回)
発根促進	タチガレン液剤	1,000倍 5～10L/m ²	土壌灌注 (挿し芽直後/1回)

今月のおすすめローテーション



地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますため

ご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

※花き類・観葉植物登録

時期	RAC コード	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用 時期	回数
定植時	P2	白さび病	inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	4C	アザミウマ類・アブラムシ類	トランスフォームフロアブル	1,000倍～2,000倍 アブラムシ類:2,000倍	発生初期	3回
	6	アザミウマ類	アフーム乳剤	1,000倍～2,000倍	発生初期	5回
消灯時	30	アザミウマ類・ハダニ類 オオタバコガ・ハスモンヨトウ	グレーシア乳剤	2,000倍	発生初期	2回
	9B	コナジラミ類・アブラムシ類	コルト顆粒水和剤※	4,000倍	発生初期	4回
発蕾時	21A	白さび病・アザミウマ類 アブラムシ類 等	ハチハチ乳剤	1,000倍	発生初期	4回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
破蕾時	5	アザミウマ類・ハモグリバエ類 オオタバコガ 等	ディアナSC※	2,500～5,000倍	発生初期	2回
	25A	ハダニ類	スターマイトフロアブル	2,000倍	発生初期	1回

混用することで酸素剤が下層部へ素早く均一に供給！

ピュア酸素



透水プロリキッド



☆ 土壌に酸素を供給し、
根の活動を活発に！

☆ 肥料・葉面散布剤の
吸収を良くします！

混入機：10kg/10a

動噴：100倍



☆ 表面張力を
弱めることで土壌に
水分を浸透させます！

☆ 土の団結化と撥水防止！

混入機：500ml (1本) /10a

動噴：2,000倍

高温対策に！

すずみどり

香り成分で、葉焼けや
萎れ等の高温障害を予防！
更に光合成を向上

ハウス内に吊るすだけ
10a当たり10～20錠

